

もりたっ子

R7毛里田小学校だより

第10号

令和7年11月14日発行



毛勝魂～楽しむ心で進化！全力で繋ぐ絆のバトン！もりたっ子～

11月8日（土）まるで校歌のような秋晴れの空の下、運動会が行われました。



スローガンの発表に続き、各団団長の、力強く感動的な選手宣誓！赤城・榛名・妙義の三色の旗も青空に映えて、これから始まる運動会に気持ちが高まります。

ラジオ体操が終わると、各学年の徒競走です。子どもたちの真剣な顔に、胸が熱くなりました。



続いては表現。低学年の「ぼくらがさかせるライラック」は、手首につけた花びらのようなひらひらがとてもかわいらしく、あの難しい曲「ライラック」に合わせて、一生懸命踊っていました。

中学年は「ミックスナッツ」。中学年ともなると、姿勢や眼差しなど、「魅せる」表現へと成長していきます。思い思いの場所につけたバンダナがかっこよく、のびのびと楽しそうに身体を動かしていました。



そして高学年！「Soran×Yagi Fusion2025」入場、構えの姿勢から雰囲気違います。静かに、そして力強く。背中に書かれた金色の文字が、一人一人の思いを表して、思いを踊りに乗せ、鳴子の響きに乘せて表現してくれました。高学年が魅せてくれた表現は、憧れの先輩の姿として目に焼き付いたことでしょう。



遊競技は各ブロックが工夫を凝らして行われました。低学年「ダンシング玉入れ」は玉入れ競技の間にダンスが入る、なんともかわいらしい玉入れです。中学年は「幸せ はこボール」オレンジのボールを落とさないようにバランスよく運びます。高学年は「綱引き～毛里田の乱 2025」覇権を奪うのはどこの団か?!白熱した戦いが続きました。一緒に綱をひいているかのように、応じている側も力が入ります。



団競技「リレー」1・2年、3・4年、5・6年それぞれに、男女3名ずつ12名で走ります。順位もいろいろと入れ替わり、手に汗握るレース展開です。リレー選手のみなさん、かっこよかったです。特に高学年のリレーは、迫力がありました。



そして閉会式。手話を交えて歌う「虹」は、金管バンドの演奏に合わせて、シャボン玉がキラキラと風に舞って、運動会の締めくくりにふさわしい、お互いのがんばりを称えるような歌声でした。

お天気にも恵まれ、無事運動会が開催できましたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。駐車場などでお骨折りいただいたPTA本部の皆様、たくさんの声援を送ってくださった来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。そしてもりたっ子のみなさん！「楽しむ心」でどんどん「進化」していく姿を見せてくれて、感動しました！「絆のバトン」をこれからもつないでいきましょう。

ふれあい音楽鑑賞会 R7.10.27

10月の終わり、「芸術の秋」にふさわしく、ふれあい音楽鑑賞会が開かれました。おおた芸術学校講師オーケストラの皆様の演奏を生で聴く機会に恵まれました。

トランペットやトロンボーンなどは、金管バンドの皆さんが演奏している様子を見せてくれるので、ちょっとなじみがあるかもしれませんが、バイオリンやチェロなどの弦楽器、フルートやクラリネットなどの木管楽器は、本物を見るのも初めて、という子も多かったことと思います。演奏してくださった曲は海外で何十年も前に作られた有名な曲ばかり。時代を超えて、現代の私たちの心も揺さぶられる名曲です。音楽の力は、言葉を超えて、時間を超えて、人々を魅了するのですね。

鑑賞後の子どもたちの感想の中から、一つご紹介します。



一番よかった曲…ビリーブ

ビリーブを選んだ理由は、オーケストラと歌が重なってきれいだったからです。私はビリーブを歌っているときにとってもなんだか優しい気持ちが出てきて、私は音楽は人を幸せにする力があるんだと思いました。また私は、オーケストラさんに感謝の気持ちも伝えるようにとても大きな声で歌いました。そしたらなんだか楽しくなってきました。私は、これからも音楽の授業の時に歌う曲は全部せいっぱいがんばりたいです。